

## 第2回鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会 議事要旨

【日 時】平成29年1月25日（水） 18:00～20:00

【場 所】（一財）国土技術研究センター7階第2・3会議室

### 【議事要旨】

#### （資料全般）

- （A 委員）：資料の中には、継続審議、継続検討となっている内容も書かれている。決まっていると誤解を招くので、継続検討だと分かるようにした方が良い。
- （委員長）：確定版でないこと、現在検討中ということを資料に記載し、確定と思われぬよう注意が必要であり、誤解を招かないよう、公表前に資料の修正を行う方針とする。

#### （道路交通法）

- （B 委員）：道路法の課題とされている事項のうち、交通規制との関係については、道路交通法の課題とすべきである。

#### （制度設計）

- （A 委員）：課金の使途について、目的税にするか、普通税にするか、両方あり、これはまだ調整が終わっていない。
- （副委員長）：課金対象は、本来であれば、入ってくる行為をした運転者が対象と思われるが、いざ追いかける時には、ナンバープレートしか手がかりがないため、使用者（実質的な車の所有者）としている。
- （A 委員）：納税義務者と課税客体は分けて考える必要がある。

#### （制度・システム等）

- （C 委員）：今後、技術開発や法制度も変わっていくと考えるので、資料全般を通して、決めつけすぎないような形で、取りまとめた方がいいのではないか。
- （D 委員）：ETCによる課金を中心と考えているようだが、一般道で来られる方はETCカードを挿入していない人が多いと思われ、ナンバープレート課金が主流となることも考えられる。
- （E 委員）：道路の無料公開の原則について、法原則であるのは、憲法の道路の平等公開の原則である。法定外税の消極三要素は当然あるが、それ以外に、憲法に反していれば、当然同意は無いため、道路無料公開の原則ではなく、平等公開の原則をどこまで修正していけるのか、という検討方法が良いのではないか。

#### （市民負担・市民アンケート結果等）

- （F 委員）：アンケート調査結果があったが、最終的には、いずれ内容が詰まっていき、市民に賛成か反対かを問うのだと考える。ただ、現時点でロードプライシングを知っている人は半分もいないため、今後社会実験時を含め、周知が重要である。
- （A 委員）：課税のやり方、課税根拠、課金の負担のあり方、3つ全てが揃っていないといけない。ここから考えて、論理的整合性を追求すると、市民負担は0しかない。

( D 委 員 ) : 市民負担の公平性の観点で、もし事前登録であるならば、市民負担は年額いくらと一定課金するやり方を検討するのはどうか。

( A 委 員 ) : 入ることに対して負荷をかけて交通量を減らすため、回数毎の課金が必要である。

( 委 員 長 ) : 実験的なことでデータをしっかり取ったほうがよいと指摘があった。そういう取り組みをやらないといけない。

**(交通実態調査、シミュレーション)**

( 事 務 局 ) : 今年度9月に交通実態調査を行っており、今後は、最新のデータで検討を進めることを考えている。また、来年度は、シミュレーションを行う予定である。

以 上